

口蹄疫等家畜伝染病に対応した 獣医師育成環境の整備事業

平成23年度~平成25年度

【分野1】

産業動物診療分野における
全国的臨床実習システムの構築

【分野2】

家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野における
全国的な実習システムの充実・強化

背景と目的

家畜伝染病の発生
(口蹄疫・鳥インフルエンザ...)

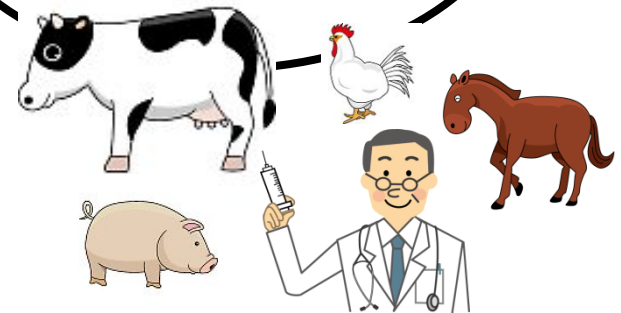
公務員獣医師
産業動物獣医師

獣医師偏在の背景(の一つ)

体系的な教育体制の不足

- 実習システム不備
- 大学間連携
- 外部専門機関協力

ニーズ増加
人数と技術不足



高度で実践的実習システムの構築

全国大学獣医学関係代表者協議会と連携・協力
全国の獣医大学の協力を得て実習システムを構築

口蹄疫等家畜伝染病に対応した 獣医師育成環境の整備事業

平成23年度~平成25年度

【分野1】

産業動物診療分野における
全国的臨床実習システムの構築

【分野2】

家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野における
全国的な実習システムの充実・強化



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

口蹄疫等家畜伝染病に対応した 獣医師育成環境の整備事業

【分野1】

産業動物診療分野における 全国的臨床実習システムの構築

<事業の概要とアンケート調査結果>

チーフコーディネーター
岐阜大学/特任教授

小森成一

実施体制

- 基幹校：**岐阜大学**
取組み代表者：北川均
チーフコーディネーター：小森成一
- 協力校：**酪農学園大学**
連携コーディネーター：片桐成二
北里大学
連携コーディネーター：渡辺大作
鹿児島大学
連携コーディネーター：窪田力
- 外部専門機関：**全国農業共済協会、
日本中央競馬会 等**

大学における産業動物臨床実習の流れ

学 年 進 行

導入実習

- 学内実施
- 外部依頼

基盤実習

- 実習室で
- 学内実施

共用試験

参加型実習

- 臨床現場で
- 大学実施型
- 外部依頼型

アドバンス実習

- 大学実施型
- 外部依頼型

コアカリ(必修)

分野1の目標

基礎から実践応用までの総合的産業動物臨床実習
システムの構築

取り組み内容

1. アンケート調査

学 年 進 行

導入実習

- 学内実施
- 外部依頼

基盤実習

- 実習室で
- 学内実施

共用試験

参加型実習

- 臨床現場で
- 大学実施型
- 外部依頼型

アドバンス実習

- 大学実施型
- 外部依頼型

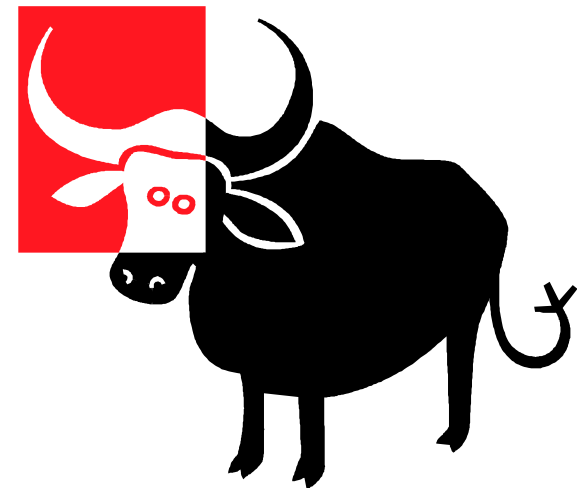
2. モデルプログラム（基盤および参加型実習）の提案、e-learning contents の提供、講師派遣システムの構築

3. 外部機関における実習参加システムの構築

① 産業動物臨床実習に関する 第1回アンケート調査

- 学内で実施中の実習（大学実施型）
- 学外で実施中の実習（外部機関依頼型）
- 必要とする実習プログラムの内容

- 選択・必修の別
- 対象学年・開講時期・期間・単位数
- 実施担当者
- 受講人数
- 実施場所
- 経費の概要
- 内容



『16大学のうち15校が回答』

学内で実施している臨床実習

(大学実施型)

- 導入的な実習: 家畜に慣れ親しむ、生産現場を知るなど
 - 6/15校で実施
 - 牧場実習・畜産学実習など
 - 主に1~3年次
- 基盤的な実習: 診断・治療の基本的な手技を学ぶ
 - 全ての大学(15/15校)で実施
 - 内科学・外科学・臨床繁殖学実習など
 - 主に4・5年次
- 参加型の実習: 往診随行などにより飼い主のいる家畜に対する診療行為を学ぶ
 - 5/15校で実施
 - 総合臨床実習・大動物臨床実習など
 - 主に5年次

・カリキュラムの
詳細不明
・参加型実習の
定義、範囲？

学外で実施している臨床実習


(外部機関依頼型)

施設および業務の視察・見学

訪問先：家畜保健衛生所、食肉衛生検査所、食肉工場、
孵化場・畜産試験場など

外部専門機関による臨床実習

NOSAIの臨床実習（往診随行）  参加型実習

- 14 / 15校で実施 
- 学年：主に5年次

- 必修9校、選択5校
- 実習時間：長短あり

中央畜産会の就業研修

- 研修先：NOSAI、大学、日本養豚開業獣医師会

② 学内基盤実習モデルプログラムの提案

モデル・コア・カリキュラムに基づいた

**モデルプログラム
実施項目チェックリスト**

<メモ>
各大学
基盤実習を実施
↓
共用試験
に備えて

← 提案

立案/試行システムの構築

(酪農学園大・北里大・鹿児島大・岐阜大)



試案プログラムとチェックリストの

試行・評価・改善



24年度より

全国16大学へ提案

③ 外部専門機関における臨床実習 参加システムの構築

産業動物臨床実習システム

NOSAIの夏期臨床実習への参加システムの構築
(岐阜大学が参加申込み窓口を担う)

馬感染症・臨床実習システム

日本中央競馬会による研修プログラム
(東京大学が参加申込み窓口を担う)

プラスアルファ

馬臨床学のe-ラー
ニングコンテンツの
作成/提供

<実習効果向上の仕掛け>

- 学生向け手引きの作成/提供
- 実習日誌/実施項目チェックリストの提出
- 実習前および実習後アンケートの提出

教育効果
アップ!

両プログラム:平成24年度より実施

今後の計画

1. **NOSAI**および**JRA**による高度臨床実習システムの
実施・評価・改善
2. アンケート調査の実施
3. 4大学による基盤実習と参加型実習のモデルプログラムの
試行・改善・策定→(全国16大学に提案)
4. 特定の外部専門機関における臨床実習システムの
開発 (実習先の新規開拓)
5. その他
 - 1) 学外機関の産業動物獣医師の仲介/派遣システムの
構築 (出張講義・実習に向けて)
 - 2) 産業動物関連のe-learning contentsの充実